

平成15年7月11日（金）
神奈川県警察本部
国土交通省横浜国道事務所
国土交通省相武国道事務所
神奈川県県土整備部
横浜市道路局
川崎市建設局

「あんしん歩行エリア」及び「事故危険箇所」の指定について

神奈川県では、警察庁と国土交通省の指定を受け、本年度から「あんしん歩行エリア」50箇所及び「事故危険箇所」390箇所の交通事故抑止対策に取り組んでまいります。

1 あんしん歩行エリアの整備

- 昨年の県下の交通事故発生状況は、人身交通事故は2年連続して減少しているものの、死亡事故は全国的に減少する中で増加し、特に歩行中の死亡事故が1.5倍に増加しました。
歩行者と自転車利用者の交通事故死者数に占める割合は、43%と高い割合となっています。また、歩行中の交通事故死者の約5割が自宅付近で被害に遭っています。
- こうした情勢を踏まえ、歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するため緊急に対策が必要な住居系地区又は商業系地区50箇所をあんしん歩行エリアとして指定します。
- あんしん歩行エリア内では、警察と道路管理者が連携して面的かつ総合的な死傷事故抑止対策を講じることにより、死傷事故を約2割抑止するとともに、そのうち歩行者又は自転車利用者に係る死傷事故を約3割抑止することを目指します。

2 事故危険箇所対策

- 死傷事故率が高く、又は死傷事故が多発している交差点や単路390箇所を事故危険箇所として指定し、交通事故抑止対策に取り組んでまいります。
- 事故危険箇所では、警察と道路管理者が連携して集中的な死傷事故抑止対策を講じることにより、死傷事故を約3割抑止することを目指します。

3 対策の概要

警察（公安委員会）	道路管理者
○信号機の新設、高度化、歩車分離化 ○道路標識・標示の高輝度化 ○交通情報板等による情報提供 ○指導取締り 等	○交差点改良、右折車線の設置 ○道路照明、視線誘導標の設置 ○区画線、道路標識の整備 ○歩道の整備 等

【資料】

- 資料1 県内の交通事故状況
- 資料2 あんしん歩行エリアの整備のイメージ図
- 資料3 事故危険箇所対策のイメージ図
- 資料4 あんしん歩行エリア整備地区

資料5 事故危険箇所の対策箇所数

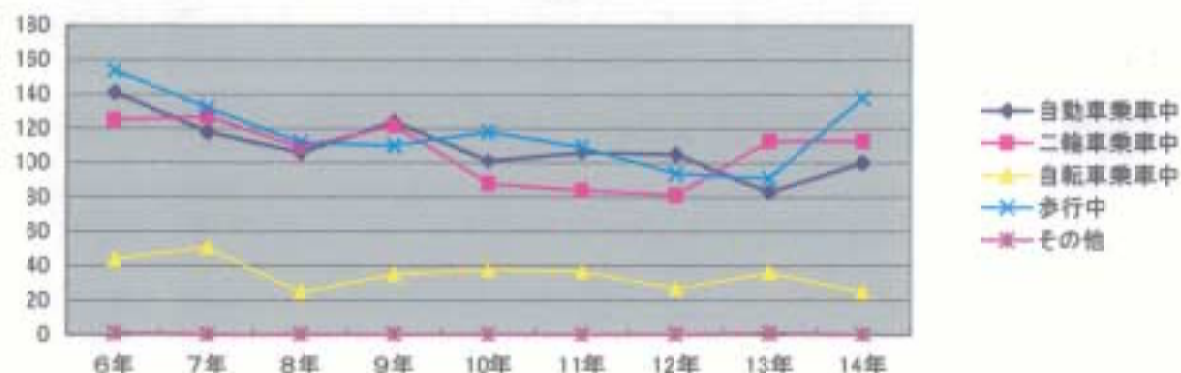
記者発表クラブ
警察本部記者クラブ、神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会、川崎記者クラブ

問い合わせ先

神奈川県警察本部交通部交通規制課
TEL 045-211-1212（内線5161）
国土交通省横浜国道事務所交通対策課
TEL 045-316-3541
国土交通省相武国道事務所管理第二課
TEL 0426-43-2008
神奈川県県土整備部道路管理課
TEL 045-210-6365
横浜市道路局道路部施設課
TEL 045-671-3557
川崎市建設局土木建設部維持課
TEL 044-200-2802

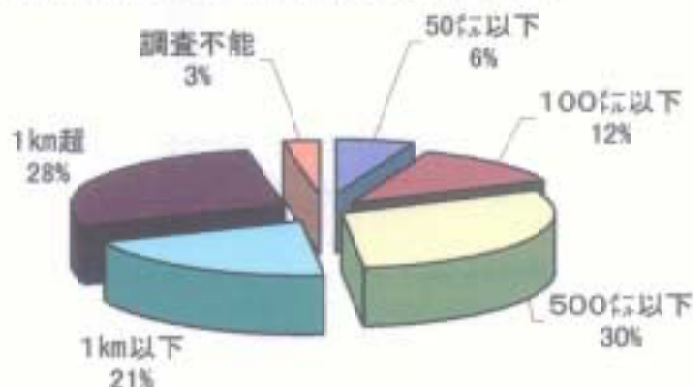
県内の交通事故状況

○ 交通事故死者数に占める歩行者・自転車乗車中の死者数(24時間以内死者)



	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
自動車乗車中	141	118	106	124	101	106	105	83	100
構成率	30.3	27.6	30.1	31.7	29.3	31.5	34.2	25.5	26.6
二輪車乗車中	125	127	109	122	88	84	81	113	113
構成率	26.9	29.7	31.0	31.2	25.5	25.0	26.4	34.9	30.1
自転車乗車中	44	51	25	35	38	37	27	36	25
構成率	9.5	11.9	7.1	9.0	11.0	11.0	8.8	11.1	6.6
歩行中	154	132	112	110	118	109	94	91	138
構成率	33.1	30.8	31.8	28.1	34.2	32.4	30.6	28.1	36.7
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0
構成率	0.2	-	-	-	-	-	-	0.3	-
合計	465	428	352	391	345	336	307	324	376

○ 歩行者・自転車乗車中の自宅からの距離別死傷者数(平成14年中)



		10歳未満		10～19歳		20～64歳		65歳以上		合計
		人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	
50m以下	死者	4	28.6	0	0.0	2	14.3	8	57.1	14
	負傷者	437	34.2	178	13.9	444	34.8	218	17.1	1277
50m超	死者	1	4.8	1	4.8	4	19.0	15	71.4	21
	負傷者	678	24.6	433	15.8	1187	43.4	440	16.1	2738
100m以下	死者	5	10.0	0	0.0	16	32.0	29	58.0	50
	負傷者	1026	15.1	1289	19.0	3435	50.7	1030	15.2	6780
100m超	死者	3	14.3	0	0.0	7	33.3	11	52.4	21
	負傷者	410	8.9	1012	22.0	2550	55.6	618	13.5	4590
500m以下	死者	1	1.8	0	0.0	41	73.2	14	25.0	56
	負傷者	333	5.3	1142	18.1	4105	65.1	721	11.4	6301
500m超	死者	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
	負傷者	367	59.7	87	14.1	142	23.1	19	3.1	615
調査不能	死者	15	9.2	1	0.6	70	42.9	77	47.2	163
	負傷者	3251	14.6	4141	18.6	11863	53.2	3046	13.7	22301

あんしん歩行エリアの整備のイメージ図

■歩行空間の整備

- 路側帯の拡幅
- 歩道、自転車道、幅の広い歩道、歩車共存道路の整備
- 段差・勾配の解消、電線類の地中化



■信号機等の整備

- 交通量等の情報を基に、信号機を制御
- LED式信号灯器、バリアフリー対応型信号機を設置
- 高輝度・自発光式道路標識等の設置



■交差点の改良

- 右折車線の設置
- 変形交差点の改良
- 駐車スペースの確保
- 違法駐車取締り

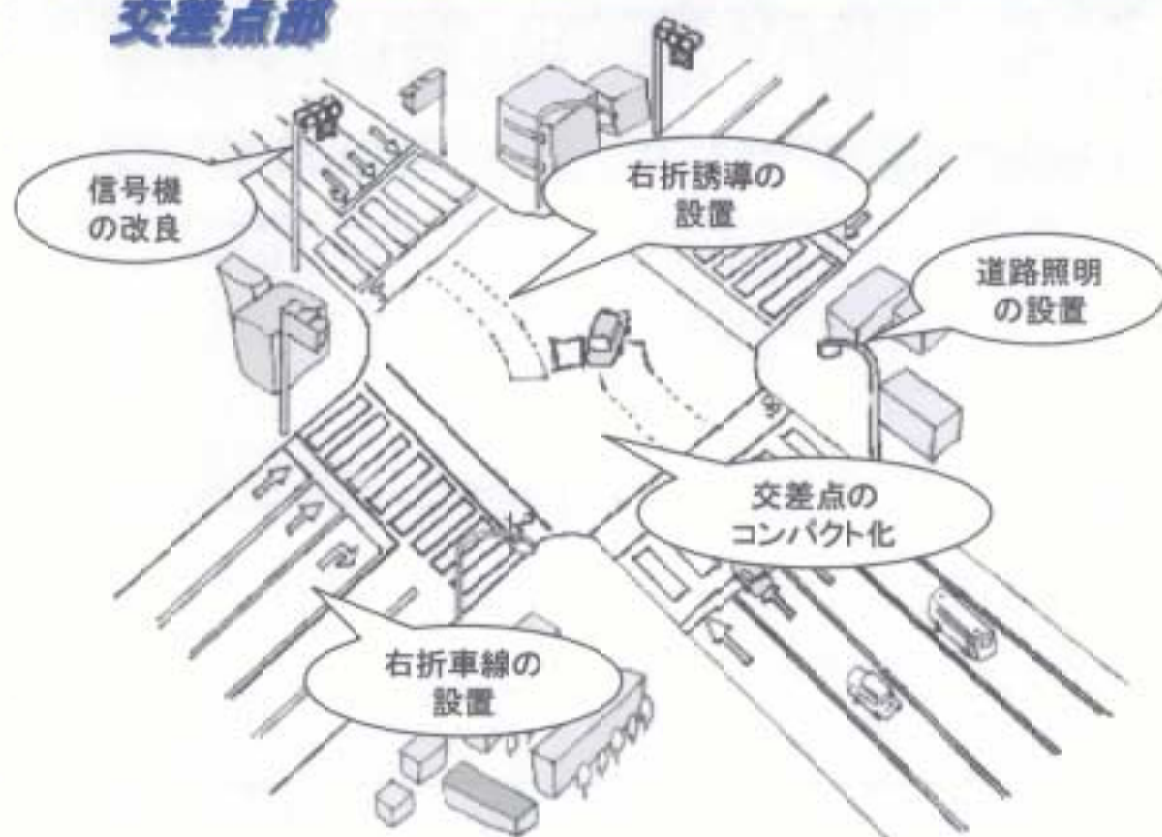
■歩行者・自転車を優先するゾーンの形成

- 最高速度規制
- ハンプの設置
- 歩行者自転車用道路の規制



事故危険箇所対策のイメージ図

交差点部



単路部



あんしん歩行エリア整備地区

No	地区名	市町村	警察署
1	本牧周辺地区	横浜市	山手
2	洋光台駅周辺地区		磯子
3	磯子駅周辺地区		
4	能見台駅周辺地区		金沢
5	金沢八景駅周辺地区		
6	弘明寺駅周辺地区		南
7	西区総合庁舎周辺地区		戸部
8	大口駅周辺地区		神奈川
9	鶴見駅周辺地区		鶴見
10	星川駅周辺地区		保土ヶ谷
11	四季美台周辺地区		旭
12	港南台駅周辺地区		港南
13	南島西地区		港北
14	長津田駅周辺地区		緑
15	あざみ野地区		青葉
16	青葉台駅周辺地区		
17	東山田地区		都筑
18	東戸塚駅周辺地区		戸塚
19	本郷台駅周辺地区		栄
20	いずみ野駅周辺地区		泉
21	観音地区	川崎市	川崎臨港
22	富士見公園地区		川崎
23	戸手地区		幸
24	武蔵小杉駅周辺地区		中原
25	溝の口駅周辺地区		高津
26	宮前平駅周辺地区		宮前
27	登戸駅周辺地区		多摩
28	新百合ヶ丘駅周辺地区		麻生
29	横須賀中央駅周辺地区	横須賀市	横須賀
30	久里浜駅周辺地区		浦賀
31	鎌倉駅周辺地区	鎌倉市	鎌倉
32	大船駅周辺地区		大船
33	藤沢駅周辺地区	藤沢市	藤沢
34	湘南台駅周辺地区		藤沢北
35	茅ヶ崎駅前地区	茅ヶ崎市	茅ヶ崎
36	中原・海蔵周辺地区	平塚市	平塚
37	浅間町・東八幡周辺地区		
38	鴨宮駅周辺地区	小田原市	小田原
39	秦野駅周辺地区	秦野市	秦野
40	伊勢原駅周辺地区	伊勢原市	伊勢原
41	妻田北・東地区	厚木市	厚木
42	本厚木駅周辺地区		
43	寺尾地区	綾瀬市	大和
44	鶴間駅周辺地区	大和市	
45	相武台前駅周辺地区	座間市	座間
46	海老名駅周辺地区	海老名市	海老名
47	瀬野辺駅周辺地区	相模原市	相模原
48	相模原駅周辺地区		
49	古淵駅周辺地区		相模原南
50	相模大野駅周辺地区		

事故危険箇所の対策箇所数

道路管理者別	箇所別	小 計	合 計
横浜国道	交差点	65	109
	単 路	44	
相武国道	交差点	10	12
	単 路	2	
神奈川県	交差点	29	174
	単 路	145	
横浜市	交差点	45	68
	単 路	23	
川崎市	交差点	15	27
	単 路	12	
合 計	交差点	164	390
	単 路	226	
	小 計	390	

※ 単路とは、交差点を跨がない道路の部分进行。